

エネルギー環境教育に関する意見交換会〈九州教職員ネットワーク〉 平成26年度第2回意見交換会を開催しました

11月15日(土)に「第2回意見交換会」を開催しました。

今回は、九州各県から計22名の小・中学校の先生方にご参加いただきました。校務お忙しい中ご参加いただきました先生方、ご派遣いただきました学校長や各教科部会長はじめ関係の皆さまに心よりお礼申し上げますとともに、実施内容につきまして、以下のとおりご報告いたします。

意見交換会

開催日時：平成26年11月15日(土) 11:00~16:35 会場：エルガーラホール7階1会議室

| | |
|--------|--------------------|
| ☆参加者 | 九州各県の先生方 |
| 社会科 | 7名(小学校4名、中学校3名) |
| 理科 | 12名(小学校6名、中学校6名) |
| 技術・家庭科 | 3名(中学校) |
| 計 | 22名(小学校10名、中学校12名) |

☆講師

長崎大学教育学部 藤本 登教授
福岡教育大学理科教育講座 坂本憲明教授
鹿児島県錦江町立田代中学校 山下信久教頭
☆事務局 (九州エネルギー問題懇話会) 梶村、神山

11:00 開会、自己紹介

事務局長の梶村から開会挨拶を行った後、講師3名と初参加(第1回意見交換会欠席及び代理出席者)の先生2名から、一言ずつ自己紹介をいただきました。

11:10 エネルギー環境問題に関する講演「エネルギー・環境問題の最新動向と原子力発電のこれから」 [九州大学大学院工学研究院 出光一哉教授]

出光講師から、地球温暖化を始めとした環境問題の原因、その影響及び対策とエネルギー問題について、お話いただきました。

こうした大問題を踏まえ、私たちができることは「省エネ」であり、資料を参考に効果的に実施していただきたいと訴えられました。

最後に3.11以降の世界の原子力発電の新設計画について、ご説明いただきました。



12:20 昼食

12:55 日本のエネルギー基本計画に関する講演「エネルギーを巡る状況とエネルギー基本計画の概要」 [資源エネルギー庁総合政策課調査広報室 奥家敏和室長]



エネルギー自給率、電源構成の推移、原油・ガスの主要調達先、電力各社の電気料金値上げの動向等、日本のエネルギーを巡る状況とエネルギー政策の概要についてお話いただきました。

「エネルギー政策の基本的な視点である3E+Sを実現していく完璧なエネルギー源はない。各エネルギー源の組み合わせでベストな状態にもっていくような供給構造を実現していくことが必要だ」と語られました。

14 : 06 休憩

14 : 15 意見交換会（グループ討議）

テーマ “学校教育としてエネルギー環境教育をどう授業化するか”

[グループ討議：各教科混在3グループ]

① 先生7名、ファシリテーター：坂本講師

坂本講師が、「子供に資質能力をつけさせるためには、教師が、エネルギー環境教育をどのように進めていくのか、また、何が大切なのかをきちんと考えることが重要ではないか」という問題提起をされ、それに対し、意見交換されました。

「燃料電池自動車など、最近ではエネルギーに関する素材がたくさんあるため、教師がそれらを勉強し、生徒にどう考えさせるかということを踏まえて授業として組み立て、その結果を集めて当該教育に活かせるよう系統立てて纏めていくことができれば、さらに効果が高まる」等の意見が出され、教師が、エネルギー環境教育に対し、興味関心を持つことの大切さが確認されました。



② 先生6名、ファシリテーター：山下講師



各人から第1回意見交換会以降のエネルギー環境教育の取り組み状況について報告されました。「第1回意見交換会への参加をきっかけとして、自分の教科の中でできること、他教科と連携が図れること等、今何ができるのか考えるようになり意識が高まった」、「子どもたちに何かを考えさせるときに、教師が正確な情報をしっかりとつかむことが必要であると感じた」等、様々な意見が出されました。

山下講師が、エネルギー環境教育を推進するうえでのポイント（学習指導要領）について、川内原子力発電所の再稼働を例に説明された後、メンバー間で意見交換されました。

エネルギー環境教育に関する他教科の各段階に応じた学習内容について積極的な情報交換が行われ、「他教科や小・中間の取り組みをお互いに知り合うことは、自教科の取り組みを有効に進めるうえで非常に重要であること」が確認されました。

③ 先生8名、ファシリテーター：藤本講師



メンバーからエネルギー環境教育実践について発表されました。「実践を踏まえ、顕在化した課題に対応していくための方策について、こういった会に参加しながらしっかり考えていきたい」、「子どもは新聞やメディアから得た情報にひきずられがちで、教師が正しい情報をいかに集め、その情報を子供にどう渡して、何を考えさせるのかといったことをしっかり持つておくことが大切であると感じた」等、効果的な授業を行うための意見が活発に交わされました。

意見が活発に交わされました。

16 : 01 休憩

16:06 グループ毎の発表・まとめ

各グループで話し合った内容を発表していただきました。

16:27 事務連絡

事務局より、今年度参加のお礼とアンケートご記入のお願いを行いました。

16:35 閉会

<当日の配布資料>



<準備物>

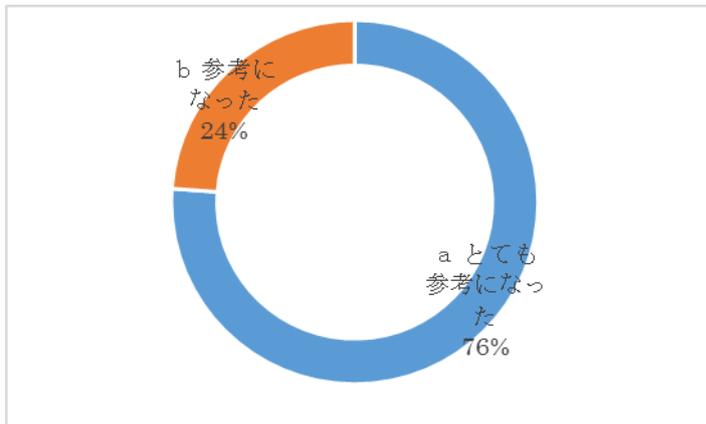


参考資料として、九州内で使用されている、小・中学校の社会科、理科、技術・家庭科の教科書を準備しました。

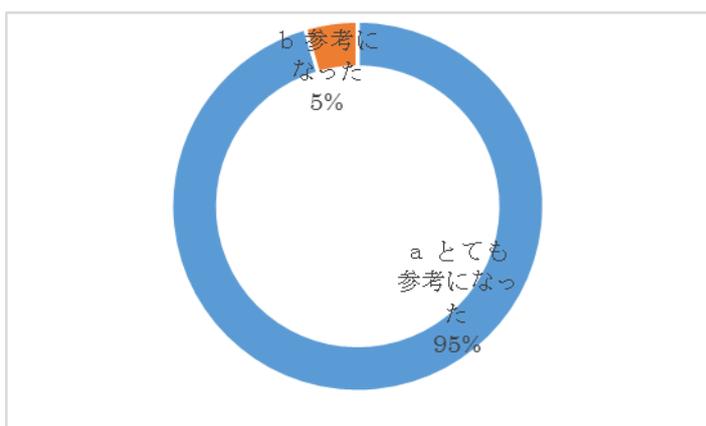
第2回意見交換会を終えて

[参加者アンケートから]

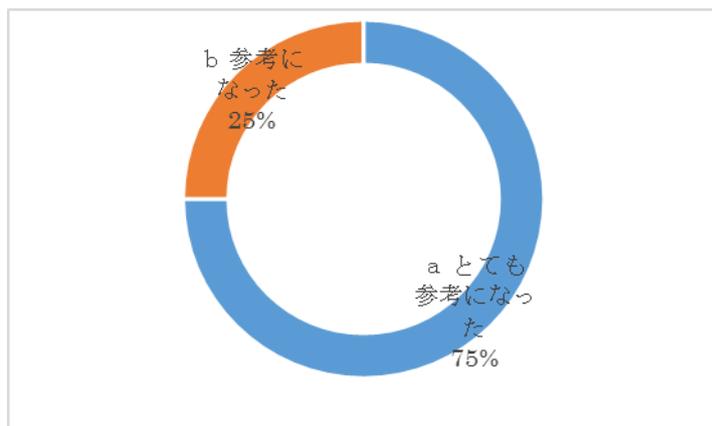
☆ 講演“エネルギー・環境問題の最新動向と原子力発電のこれから”[九州大学大学院工学研究院 出光教授]



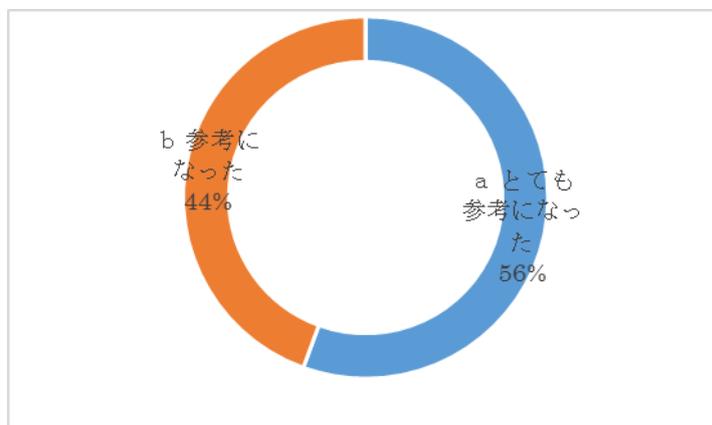
☆ 講演“エネルギーを巡る状況とエネルギー基本計画の概要”[資源エネルギー庁総合政策課調査広報室 奥室室長]



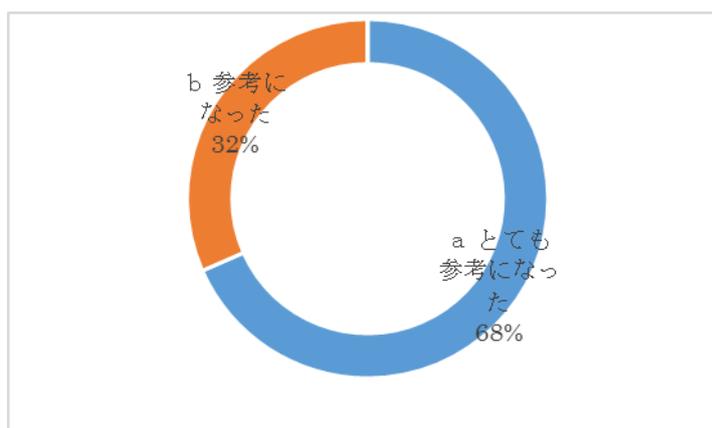
☆ グループ討議 “具体的な授業計画づくり”



☆ まとめ “学校教育としてエネルギー環境教育をどう授業化するか”



☆ 全体として



<感想・ご意見>

- ・ 教科の属性を生かし、他教科との連携を図り指導していく必要があると感じた。
- ・ エネ庁の責任ある立場での話は、説得力がありとても良かった。
- ・ 分かり易い講演内容で、今の日本の置かれた状況を具体的に理解することができて良かった。
- ・ 多くの先生方の実践や実践への意欲を聞くことができ、エネルギーをいただいた。
- ・ 気持ちがりフレッシュされた。実践力を高めたい。
- ・ 意見交換会では、環境教育を進めていくうえで悩んでいることについて意見がもらえて良かった。
- ・ 講話や意見交換を通して新たな視点ももてた。これが次の授業への取り組みに繋がっていけばよいと思う。
- ・ 先生方の実践を聞き、刺激になった。また今度と思わず、すぐに何かできることから実践したい。
- ・ 夏の鹿児島のは非常に良かった。また、今回も勉強になった。

校務お忙しい中、ご参加いただきました先生方、ご派遣いただきました学校長や各教科部会長はじめ関係者の皆さま、本当に有難うございました。九州エネルギー問題懇話会では、エネルギー環境教育の参考となる情報のご提供等を継続してまいりたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 2-1-82 電気ビル共創館 6階
(一社)九州経済連合会 九州エネルギー問題懇話会 担当：神山
TEL：092-714-2318 FAX：092-714-2678 [HP] <http://www.q-enecon.org/>